

平成26年度介護予防事業の概要報告

1 二次予防事業の対象者把握事業

(1) 事業内容

本事業は、二次予防事業である通所型介護予防事業及び訪問型介護予防事業の対象者を抽出するために取り組んでおります。

- ① 対象者：65歳以上の要介護等認定を受けていない方
- ② 内容：基本チェックリストによる生活機能評価（必須25項目＋独自22項目）
- ③ 目的：生活機能低下により介護予防が必要とされる、要支援認定者の手前の二次予防事業（通所型介護予防事業、訪問型介護予防事業）の対象者を把握
- ④ 未返送者への対応：督促通知を送付し、提出の促進を図っています。
- ⑤ 結果通知：結果アドバイス表として、結果を送付いたします。
- ⑥ 一次予防事業（介護予防普及啓発事業、認知症予防事業）への参加の案内：結果通知とともに同封いたします。
- ⑦ 二次予防事業対象者への勧奨：通所型介護予防事業への参加を促すために、9月、12月、3月、6月の時期に4回の勧奨を行います。
- ⑧ 医師への生活機能評価受診：通所型介護予防事業への参加申込みをされた方の中から必要に応じて受診していただいております。

(2) 事業の実施状況

①事業実施スケジュール

- ア 基本チェックリスト発送日 ……平成26年6月25日
- イ 未返送者への督促通知日……平成26年8月8日
- ウ 基本チェックリスト結果アドバイス表発送日 ……平成26年8月12日
平成26年9月22日
- エ 上記ウに介護予防普及啓発事業及び認知症予防事業の案内と介護予防体操のカレンダーを同封
- オ 10月から、通所型介護予防事業の参加勧奨用データとして活用します。

②二次予防事業対象者把握状況表

		平成26年度	平成25年度
基本チェックリスト対象者数	A	32,969人	32,239人
基本チェックリスト返送者数	B	27,626人	27,832人
基本チェックリスト返送率	B/A	83.8%	86.3%
基本チェックリスト未返送者数	$C = A - B$	5,343人	4,407人
基本チェックリスト判定不能者数	D	1,191人	1,004人
基本チェックリスト判定不能者発生率	D/B	4.3%	3.6%
基本チェックリスト結果通知送付者数	$\frac{B - D}{=}$	26,435人	26,828人
二次予防事業対象者	E	5,775人	6,276人
二次予防事業対象者発生率	E/B	20.9%	22.5%
一次予防事業対象者数	F	20,660人	20,552人
一次予防事業対象者数発生率	F/B	74.8%	73.8%
基本チェックリスト未返送者への再送付通知		7,943通	7,162通
生活機能評価受診者数		238人	298人

※基本チェックリスト判定不能者数は、必須25項目の内、20項目以上空欄の方

2 通所型介護予防事業（二次予防事業）

（1）事業内容

二次予防事業対象者に、寝たきりや要介護状態になることや、症状が悪化することを防ぐために、通所型介護予防事業（介護予防教室）を開催します。

高齢者自身の日常生活動作の能力を高め、本人の介護予防の実践に結びつけていくため、運動機能の向上や栄養改善、口腔機能の向上について、本事業の幅広い展開を図ります。現在、送迎付きの教室は、2ヶ所を拠点（小川東町、花小金井）として実施し、さらに、巡回型として拠点以外の場所での実施を行っています。また、随時、二次予防事業対象者へ参加勧奨を行っています。

（2）事業の実施状況

①介護予防教室＝各区分を開始月4回（4月・7月・10月・1月）により実施

4月～9月実績

区 分	1コース当たりの回数 (3か月間)	コース数	延開催回数	参加人数	延参加人数
運動機能向上コース	12回	20コース	240回	195人	2,155人
運動機能向上コース<継続者対象>	6回	8コース	48回	67人	360人
介護予防総合コース	12回	8コース	96回	60人	580人
腰痛・ひざ痛予防教室	8回	4コース	32回	35人	259人
口腔機能向上コース	6回	2コース	12回	27人	143人
合 計		42コース	428回	384人	3,497人

※ 腰痛・ひざ痛予防教室は、巡回型として実施しています。

【巡回型実施場所】

4月～6月	①東部市民センター	②小川東町拠点
7月～9月	①小川町1丁目地域センター	②上水新町地域センター
10月～12月	①御幸地域センター	②鈴木地域センター
1月～3月	①福祉会館	②福祉会館

3 訪問型介護予防事業（二次予防事業）

（1）事業内容

心身の状況により通所型介護予防事業への参加が困難な二次予防事業の対象者に、看護師等がその居宅等を訪問し、必要な相談・指導を実施します。

今後は、多くの利用を促すため、訪問・電話等により積極的に対象者への働きかけを行います。

（2）事業の実施状況

1人につき月2回までの訪問を実施

4月～9月 対象者 1人

4 介護予防普及啓発事業（一次予防事業）

（1）事業内容

全ての65歳以上の高齢者の内、会場にご自身で来られる方を対象に、生活機能の維持や向上を目的とする介護予防講座等や、介護予防の情報を提供し、自立した日常生活が送れるよう支援を行います。講座等は、二次予防事業対象者把握事業の結果通知での参加勧奨、市報等での参加募集を行っています。

（2）事業の実施状況

①介護予防講座

区分	とき	実施場所	開催回数	参加人数	テーマ
講演会	10月21日	福祉会館	1回	—	笑いヨガでたのしく介護予防
講座	9月16日 9月30日	小川西町公民館	2回	19人	始めよう！ お口と脳と体を鍛えて介護予防
	9月11日 9月18日	福祉会館	2回	40人	
	9月19日 10月3日	東部市民センター	2回	53人	
運動講座	5月2日	福祉会館	1回	16人	「脳・足腰をきたえて介護予防」
	5月7日	小川西町公民館	1回	7人	
	5月12日	東部市民センター	1回	20人	
	6月18日	小川西町公民館	1回	8人	
	6月20日	福祉会館	1回	10人	
	6月23日	東部市民センター	1回	13人	
		合計	12回	186人	

②介護予防講座（二次予防事業修了者用） 4～9月

担当包括	と き	実施場所	開催回数	参加人数	テーマ
小平健成苑	4月22日	小平健成苑	1回	15人	体操を通しての介護予防
	5月27日	小平健成苑	1回	12人	
	6月24日	小平健成苑	1回	12人	
	7月22日	小平健成苑	1回	16人	
	8月26日	小平健成苑	1回	13人	
	9月24日	小平健成苑	1回	16人	
多摩済生ケアセンター	4月10日	大沼公民館	1回	18人	自宅のできる介護予防体操
	5月8日	大沼公民館	1回	18人	
	6月12日	大沼公民館	1回	18人	
	7月10日	大沼公民館	1回	16人	
	8月14日	大沼公民館	1回	17人	
	9月11日	大沼公民館	1回	17人	
中央センター	4月15日	福社会館	1回	7人	ころばん運動教室
	5月20日	福社会館	1回	8人	
	6月17日	福社会館	1回	7人	
	7月15日	福社会館	1回	7人	
	8月19日	福社会館	1回	3人	
	9月20日	福社会館	1回	6人	
小川ホーム	4月7日	小川西町中宿地域センター	1回	15人	元気はつらつ小川の会体操教室
	4月21日	学園西町地域センター	1回	17人	
	5月5日	小川西町中宿地域センター	1回	11人	
	5月19日	学園西町地域センター	1回	11人	
	6月7日	小川西町中宿地域センター	1回	15人	
	6月23日	学園西町地域センター	1回	14人	
	7月7日	小川西町中宿地域センター	1回	13人	
	7月21日	学園西町地域センター	1回	12人	
	8月4日	小川西町中宿地域センター	1回	10人	
	8月28日	学園西町地域センター	1回	13人	
	9月1日	小川西町中宿地域センター	1回	13人	
	9月15日	学園西町地域センター	1回	16人	
けやきの郷	4月24日	けやきの郷	1回	23人	寝たきりにならないための運動習慣
	5月22日	けやきの郷	1回	20人	
	6月26日	けやきの郷	1回	18人	
	7月24日	けやきの郷	1回	20人	
	8月28日	けやきの郷	1回	20人	
	9月25日	けやきの郷	1回	11人	
		合 計	36回	498人	

※4包括×12回=48回 1包括×24回=24回 合計72回

5 認知症予防事業（一次予防事業）

（1）事業内容

65歳以上で要介護・要支援認定を受けておらず、認知症の診断を受けていない方を対象に、認知症予防の普及啓発に資する様々な内容を取り入れた教室・講座・講演会を開催し、利用者が認知症予防を実践できることを目指します。

（2）事業の実施状況

①認知症予防教室＝ウォーキング編

入門編：2コース2回（4月・9月）

実践編：2コース24回（4月～7月・10月～12月）

フォローアップ編：2コース6回（8月～10月・1月～3月）

ウォーキングイベント：3回（7月・11月・3月）

◎入門編

と き	実施場所	開催回数	参加人数
4月30日	中央公民館	1回	45人
9月18日	東部市民センター	1回	46人
	合 計	2回	91人

◎実践編

と き	実施場所	開催回数	参加人数	延参加人数
5月14、21、28日、6月4、11、18、25日、7月2、9、16、23、30日	健康福祉事務センター	12回	17人	168人
10月2、9、16、23、30日、11月6、13、20、27日、12月4、11、18日	東部市民センター	12回	—	—
	合 計	24回	17人	168人

◎フォローアップ編

と き	実施場所	開催回数	参加人数	延参加人数
8月27日、9月24日、10月29日	健康福祉事務センター	3回	15人	—
1月22日、2月19日、3月19日	東部市民センター	3回	—	—
	合 計	6回	15人	人

◎ウォーキングイベント

と き	実施場所	開催回数	参加人数
7月2日	美園地域センター	1回	29人
11月20日	小川西公民館	1回	—
3月25日	健康福祉事務センター	1回	—
	合 計	3回	29人

②認知症予防講座＝4コース32回（4月～・6月～・9月～・1月～）

テーマ：「目・脳・体いきいき教室」

と き	実施場所	開催回数	参加人数	延参加人数
4月15, 22日 5月13, 20, 27日 6月3, 10, 17日	東部市民センター	8回	27人	165人
6月10, 17, 24日 7月1, 8, 15, 22, 29日	福社会館	8回	28人	212人
9月8, 22, 29日 10月6, 20, 27日 11月10, 17日	美園地域センター	8回	—	—
1月6, 13, 20, 27日 2月3, 10, 17, 24日	小川西公民館	8回	—	—
	合 計	32回	55人	377人

◎フォローアップ編

と き	実施場所	開催回数	参加人数	延参加人数
7月15日	東部市民センター	1回	13人	13人
8月26日	福社会館	1回	19人	19人
12月22日	美園地域センター	1回	—	—
3月24日	小川西公民館	1回	—	—
	合 計	4回	32人	32人

③認知症予防講演会＝2回

と き	実施場所	開催回数	参加人数	テーマ
6月26日	ルネこだいら	1回	54人	今日から始める認知症予防
11月15日	中央公民館	1回	—	認知症～早期の気づきと接し方～
	合 計	2回	54人	

④認知症サポーター養成講座

と き	団体名	開催回数	参加人数
5月16日	ママさん体操	1回	30人
6月11日	タイムリー講座受講者	1回	22人
6月18日	小平生活ネットワーク	1回	14人
6月27日	介護認定調査員	1回	23人
7月24日	右脳いきいきクラブ	1回	22人
8月5日	右脳いきいきクラブ	1回	19人
9月3日	市報周知小平市民	1回	16人
9月11日	見守りボランティア	1回	80人
9月17日	公明党小平第1支部	1回	28人
10月3日	市報周知小平市民	1回	10人
		10回	264人

◎平成25年度までの実績

年度	開催回数	参加人数
平成18年度	3回	79人
平成19年度	7回	214人
平成20年度	14回	336人
平成21年度	12回	278人
平成22年度	22回	410人
平成23年度	21回	359人
平成24年度	25回	506人
平成25年度	25回	451人
平成26年度	10回	264人
	139回	2,897人

← 10/3までの回数・人数

6 介護予防見守りボランティア事業

(1) 事業内容

見守りボランティア登録をされた高齢者が、地域包括支援センターと連携しながら、地域のさりげない見守り活動を行い、この活動を通して、地域の見守り体制を強化するとともに、ボランティアとして活動する高齢者の介護予防を推進します。

この事業は、平成23年9月から西圏域でモデル事業として開始し、平成25年度からは、市内の全圏域で実施しています。

見守りボランティアの方々には、地域を知ってもらい、日常の外出からさりげない見守りを行い、異変に気づいた場合には、地域包括支援センターに通報することとしています。

見守りボランティアの登録前には、事前研修を行い、登録後には、交流会や、フォローアップ研修を行っています。

(2) 事業の実施状況

①登録事前研修

○第1回 9月開催

★内容

1日目	地域の中で行う見守り方法について 講師：森山千賀子氏 (白梅学園大学准教授)	2日目	①認知症サポーター養成講座 ②高齢期のからだの変化
-----	--	-----	------------------------------

★日程等

	と き	実施場所	開催回数	参加人数	男性	女性
1日目	9月10日	福社会館	1回	81人	40人	41人
2日目	9月11日	福社会館	1回	76人	38人	38人
		合 計	2回	157人	78人	79人

○第2回 2月開催

★内容

1日目	地域の中で行う見守り方法について 講師：森山千賀子氏 (白梅学園大学准教授)	2日目	①認知症サポーター養成講座 ②高齢期のからだの変化
-----	--	-----	------------------------------

★日程等

	と き	実施場所	開催回数	参加人数	男性	女性
1日目	2月6日	福社会館	1回	人		
2日目	2月10日	福社会館	1回	人		
		合 計	2回	人	人	人

②見守りボランティア登録者数 (平成 26 年 9 月 30 日 現在)
 156名 < 男性 = 65名 > < 女性 = 91名 >
 ※ 内、協力員登録 (65歳未満の方) = 男性 2名 女性 21名

【内訳】

圏域	登録者			協力員			合計		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
西	22名	22名	44名	0名	5名	5名	22名	27名	49名
中央西	15名	19名	34名	0名	3名	3名	15名	22名	37名
中央	4名	2名	6名	0名	2名	2名	4名	4名	8名
中央東	9名	10名	19名	1名	5名	6名	10名	15名	25名
東	13名	17名	30名	1名	6名	7名	14名	23名	37名
合計	63名	70名	133名	2名	21名	23名	65名	91名	156名

③見守りボランティアからの通報 (平成 26 年 9 月 30 日 現在)
 通報件数 = 4件

圏域	件数	主な内容
西	0件	
中央西	0件	
中央	3件	①要介護4の妻と同居している夫の介護疲れについて ②マンション内で問題行動がある方への対応について ③包括で関わりのある方が救急搬送されたことについて
中央東	1件	①近所の道端で自転車ごと倒れていた高齢者について
東	0件	
合計	4件	

④フォローアップ研修

とき	実施場所	開催回数	参加人数	内 容
3月 日				
	合 計	回	人	

⑤交流会

ア 西圏域

とき	実施場所	開催回数	参加人数	テーマ・内容等
5月15日	けやきの郷 家族介護教室	1回	12人	認知症の理解と寄り添うための基礎知識・事例の寸劇を行い、対応等に関するグループワークを実施した。
7月15日	黎明ホール	1回	15人	高齢者あんしん見守りネットワーク 諏訪町ゆっとについての講演
9月16日	けやきの郷 家族介護教室	1回	23人	認知症行方不明者と振り込め詐欺の被害についての講演
11月18日				
1月20日				

イ 中央西圏域

5月14日	小川ホーム	1回	13人	自己紹介と地域の見守り活動についての情報交換
7月18日	小川ホーム	1回	11人	コミュニティサロン「ホットスペースさつき」の紹介とボランティア活動についての講座、意見交換
10月3日	小川ホーム	1回	18人	小川西町地域のまち歩きについて

11月12日				
1月23日				

ウ 中央圏域

5月27日	健康福祉事務センター	1回	4人	見守りサポーター養成研修の振り返りと地図を使って地域を考える
7月29日	健康福祉事務センター	1回	4人	地図の書き込み、互いの活動についての情報交換
9月30日	小川東町地域センター	1回	4人	自己紹介と見守りボランティアになってみて
11月25日				
1月27日				

エ 中央東圏域

5月15日	多摩済生ケアセンター	1回	6人	まち歩きについてと今後の予定について
7月10日	多摩済生ケアセンター	1回	5人	小平西圏域での見守りボランティア活動交流会についてと今後の交流会内容について
9月18日	多摩済生ケアセンター	1回	8人	孤独死に関するDVD鑑賞とグループワーク
11月20日				
1月15日				

オ 東圏域

5月16日	花小金井南公民館	1回	15人	地域を歩こう～花小金井南町3丁目自治会地区のフィールドワーク
7月11日	東部市民センター	1回	12人	民生委員との交流、活動を知る
9月26日	小平健成苑	1回	15人	自己紹介と見守りボランティアになってみて
11月14日				
1月16日				

交流会の開催回数・参加人数の合計

	合計	15回	157人	
--	----	-----	------	--

(3) 事業の課題・対応の方向

ア 課題

- | | |
|-------------|---------------------|
| ① 見守り方法の検討 | ② 見守りボランティアの担い手について |
| ③ 横断的な連携 | ④ 地域住民同士の交流 |
| ⑤ 地域住民のリーダー | ⑥ 地域住民へのサポート体制 |

イ 対応の方向

- 方向① 具体的な見守り方法を検討する。
- 方向② 事業の継続性を踏まえ、65歳未満の協力員を増やす。
- 方向③ 横断的な連携などに配慮するため個人情報の共有化も視野に入れる。
- 方向④ 地域住民の交流の場として、交流会を活用していく。
- 方向⑤ 見守りボランティアや協力員への対応を行う人材を確保する。
- 方向⑥ 見守り関連事業を改善し、見守り体制の充実を図る。

(4) 平成26年度の取り組みについて

今年度の取り組みとして、全圏域に事業を展開しましたが、見守りボランティアの具体的な見守りまでには至っていない状況です。今後も引き続き、事業の課題や、対応の方向を見据えた事業の推進を図っていきます。